

I C Tで心を繋ぐ指導法！

～ みんなが笑顔になる最適な情報発信とは!? ～

山口県立萩高等学校

田 中 光

1. はじめに

部活動を指導していく上で、教員は生徒との信頼関係を築きながら、また保護者の協力や理解を得ながら活動していくことが重要である。生徒や保護者の信頼は生徒が自分自身の成長を実感するとともに、保護者が子供の日々の成長を感じることで培われるものだと考える。

このため、私自身10年以上部活動の様子を保護者や関係者の方々にインターネット（ブログ）を通じて発信を続けてきた。これは、試合の結果など目に見える成果だけでなく、日々の成長のプロセスをICTで可視化し、情報発信したものである。特にこの取り組みは、コロナ禍において、実際に活動を保護者や関係者に観ていただけない中、大きな効果があった。適切な方法で必要な情報を共有することは、保護者との信頼関係を築き、部活動をスムーズに運営する上で大変重要であると実感してきた。しかし、うまく情報共有できているか、本当に生徒や保護者が必要とする情報を提供できているか正直疑問であり、連携を図ることの難しさも感じている。

そこで、本校柔道部のICTを活用した取り組みを柔道部関係者に調査することで適切な情報発信、情報共有について検証してみた。

また、県内の高校にも調査協力してもらうことで、一般的に教員と生徒や保護者などの関係者が信頼関係の構築に向けて最適な情報共有を図るにはどうしたらよいかということを調査し、部活動に関わる全ての人が笑顔になる活動となるよう本テーマを設定した。

2. 本校柔道部取り組み

（1）至誠ブログによる情報発信について

本校柔道部は創部120年を超え、昔から全国大会で入賞者を出したり、団体でも全国大会出場をしていたりと活躍してきたが、通学圏内の生徒はもとより、県内全域から本校で柔道をすることを希望し入学し、下宿生活を送りながら学校生活を送っている。大切なお子様を保護者からお預かりしているため、日々の活動や遠征の様子、大会結果、練習計画、大会への抱負やお礼の言葉などに至るまで、少しでも生徒の成長を身近に感じていただけるよう10年以上前にICTを活用した活動報告、「至誠ブログ」を立ち上げて更新し続けてきた（図1）。総記事数は4600回以上、総アクセス数78万回以上を数える。

なお、「至誠」とは本校の校訓であり、「極めて誠実なこと。まごころ。」という意味で、吉田松陰先生は「至誠にして動かざるは未だこれ有らざるなり」と述べておられる。

昨年の新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため緊急事態宣言が発出され、2か月以上臨時休校期間が続いた際は、全国大会をはじめとする多くの大会が中止となった。柔道部員達の落胆は大きかったが、何とかモチベーション

図1 至誠ブログの様子

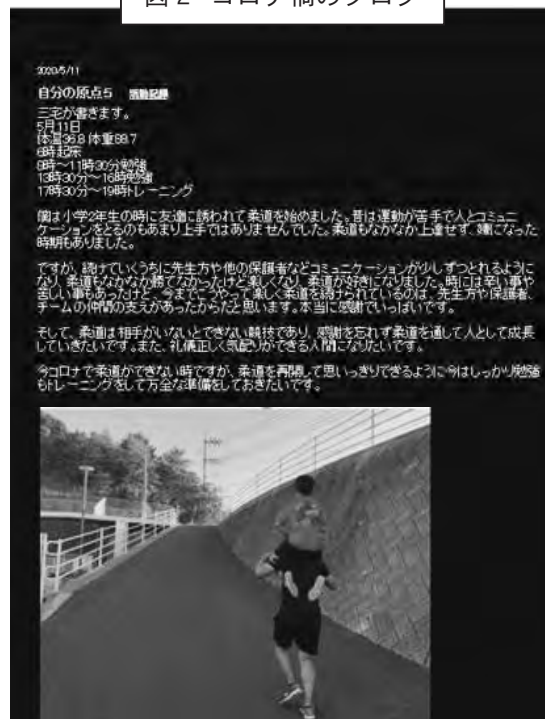


を維持するために、部員たちがリレー形式で毎日の家庭での自主練習の様子、休校中の心境、柔道を始めた原点を振り返るなど記事を見てもらうことで、集合練習ができない中、それぞれの取り組みに刺激を受け合い、互いに高め合うことに大きな効果があった（図2）。

至誠ブログ



図2 コロナ禍のブログ



（2）至誠ブログの成果・課題について

このたび発表の機会をいただき、ブログを開設して初めて現役生やその保護者、OBやその保護者などを対象に意識調査を実施した。その結果、顧問からの口頭や文書による情報よりも、至誠ブログを利用した情報入手をより多く活用しており、必要な情報や役立つ情報として日々の活動報告や大会結果、練習計画や大会日程などをあげている（図3・4）。

図3 部活動情報の入手方法（左）と必要な部活情報（右）は？

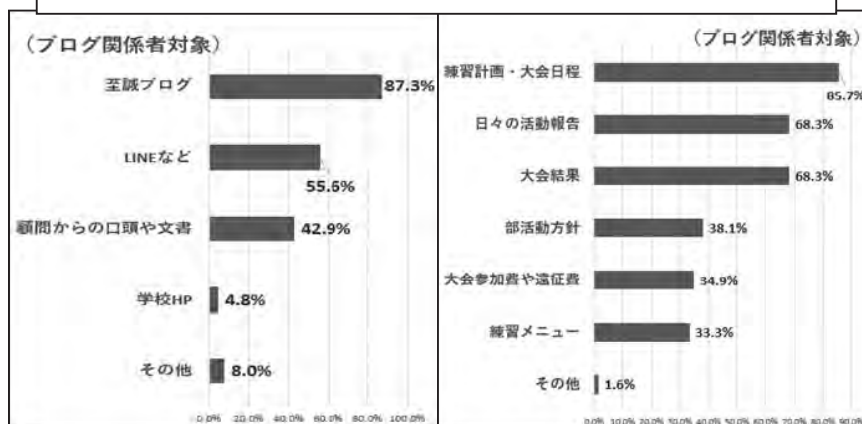
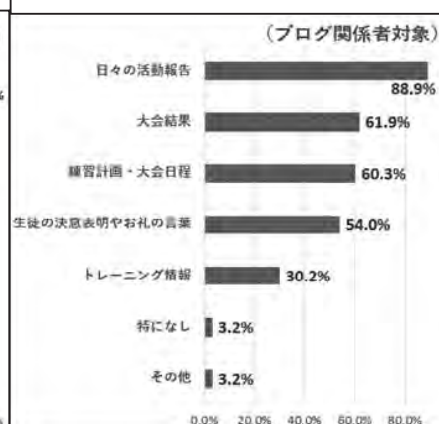


図4 ブログで役立っている情報は？



また、本校柔道部に期待していることは、遠方から入学してきてでも柔道をしたい生徒ばかりのため、実績を重視していることは予想できたが、それよりも人間的な成長を期待していることが多いことは驚きであった（図5）。

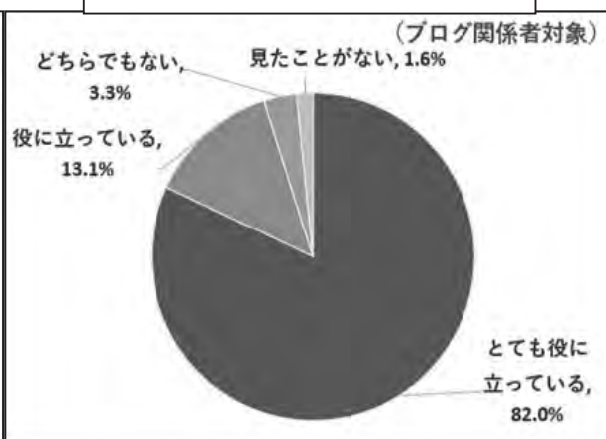
さらに、本ブログが多くの選手及び保護者の役に立っていることを確認することができた（図6）。

当初のブログ開設の目的をある程度は達成できており、今後も選手及び保護者との信頼関係を築く一つの手段として継続して実施していきたい。ブログを改善させていくためには、活動の動画をアップすることや他のSNSなどに関連付けることなどもブログ関係者から課題として挙げていただけた。

図5 部活動に期待することは？



図6 ブログは役に立っているか？



(3) その他の取り組み

高体連柔道専門部としてYouTubeを利用した大会の動画オンライン配信や、日頃の部活動や校内試合の様子をLINEのグループ動画通話機能を利用して配信なども実践してきた。どちらもコロナ禍において無観客を強いられ、会場まで足を運べない保護者の方々には大変好評であった。

図7 YouTube配信の様子



3. 効率的な情報発信についてのアンケート調査

以上の本校の取り組みを通して感じた効果や課題について本県の状況を把握するため、アンケート調査を実施した。

(1) 調査の目的

本調査は、山口県内一部の高校生とその保護者を対象にアンケートを行い、生徒や保護者が教員に対してどのような情報をどのように得たいかを把握する目的で実施した。

また、教員を対象に含めることで、部活動のやりがいやストレスは何なのかについても調査するものである。

それらの調査を行うことで、心を繋ぐ指導、教員・生徒・保護者が笑顔になる指導をスムーズにできるよう、さらに、教員と生徒・保護者との関係をよりよいものにし、教員自身の部活動に対するストレスを軽減させ、精神的ストレス軽減の一助になればと考えている。

(2) 調査の概要

- ・ 方 法 オンラインによるアンケート調査
- ・ 対 象 県内高校生 726名
- (回収) 県内高校生の保護者 555名
- 県内高校の教員 97名
- 本校柔道部関係者 63名
- ・ 期 間 2021年8月～9月

(3) 結果と考察

ア 情報の入手（提供）方法について

現在部活動の情報は、顧問の口頭や文書により提供され、生徒や保護者が入手していることが分かった（図8・9）。情報交換の理想は生徒及び保護者ともLINEを希望している割合が高くなっているが、教員の割合は低く、固定電話やスマートフォンの電話機能を利用する割合が高い（図10・11）。LINE機能などは大変便利な反面、LINE等のSNSを原因とする課題も生じており、今後も教員側の規範意識の構築はスムーズな情報共有には不可欠だと考えられる。

図8 部活動の情報の入手方法は？

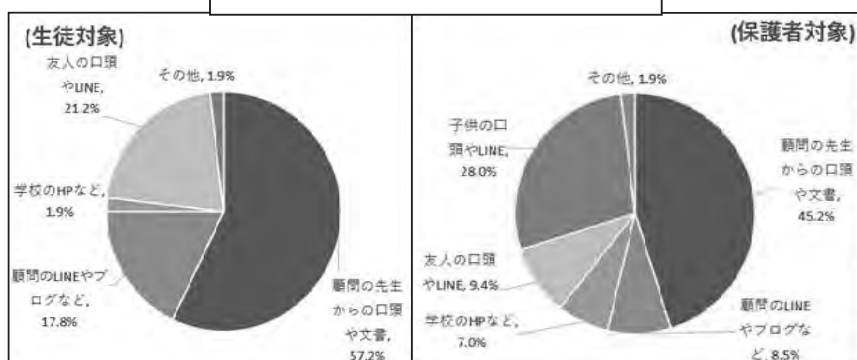


図9 部活動の情報の提供方法は？

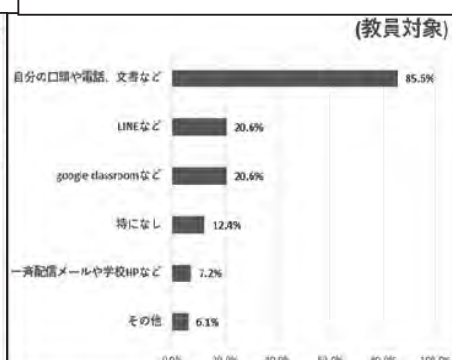


図10 部活動の情報の入手方法の理想は？

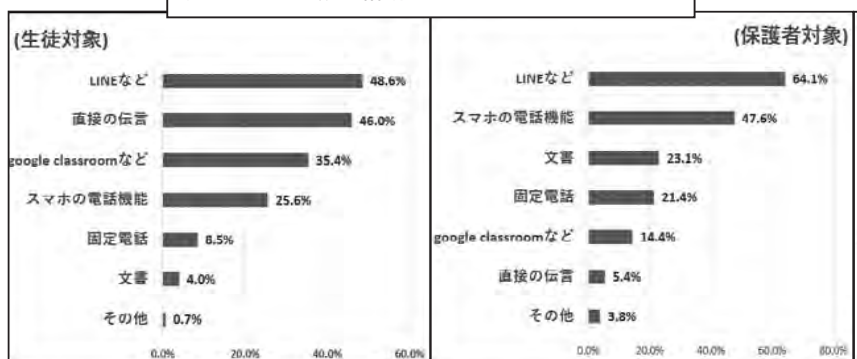
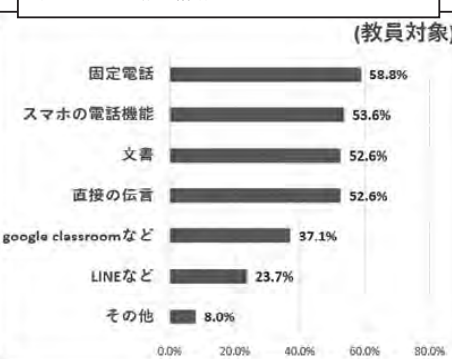


図11 部活動の情報の提供方法の理想は？



イ 部活動情報の提供内容について

必要な部活動の情報として、生徒及び保護者ともに大会日程や練習計画についてあげている（図12）。生徒は練習メニューや部活動の方針などについても知りたいようである。保護者は大会日程・練習計画に続いて、日々の活動報告が大会結果より多い。これはここ数年、特にコロナ禍で実際に活動や大会が観られないことが多いことも一因として考えられる。

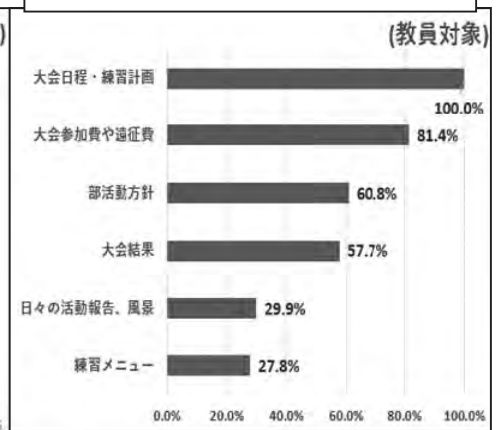
一方で教員は、大会日程・練習計画に加えて、大会や遠征に関わる金銭面についての情報を提供すべきと考えており、日々の活動報告については必ずしも高くない（図13）。

日々の活動報告については保護者の要望が強いようなので、今後提供すべき事柄になるのではと考えられる。

図12 必要な部活動情報は？



図13 どんな部活動情報を提供すべき？



ウ 保護者が部活動に期待すること、教員の部活動におけるやりがいについて

保護者が部活動に期待することは、圧倒的に生徒の人間的成長であることが分かる(図14)。その他にも思い出作りや友人作り、健康のためが高い。一方、部活動の実績をあげることにについては25.6%にとどまっており、生徒の人間力構築を保護者は望んでいることが分かる。

勝利至上主義は生徒への体罰や暴言、指導者自身の精神的ストレスに繋がることが指摘されている。部活動の実績をあげることも、生徒を想う気持ちを大切に、温かい気持ちと先を見据えた継続的な指導を保護者は部活動に求めていることが考えられる。

また、教員の部活動におけるやりがいは保護者が期待していることと同様に、生徒の人間成長を促すことにある(図15)。教員は、勝つことよりも生徒にとって豊かな人生への道標となるような視点で指導していくことこそがやりがいであり、やるべきことであり、さらに保護者が望んでいることなのだろうと考えられる。

図14 部活動に期待することは？

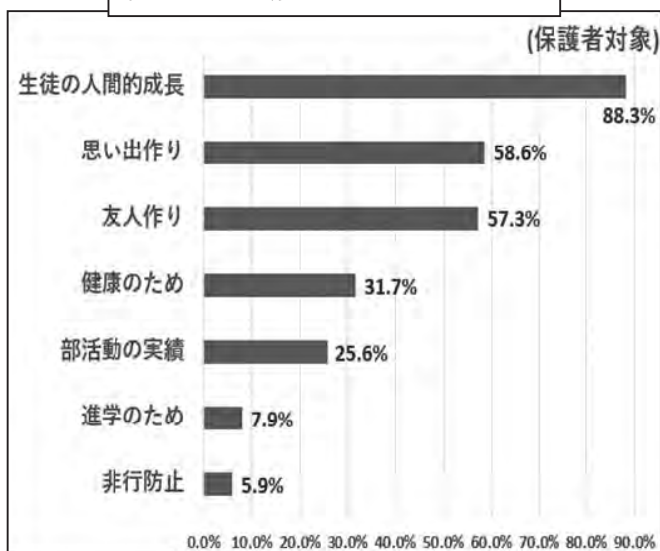
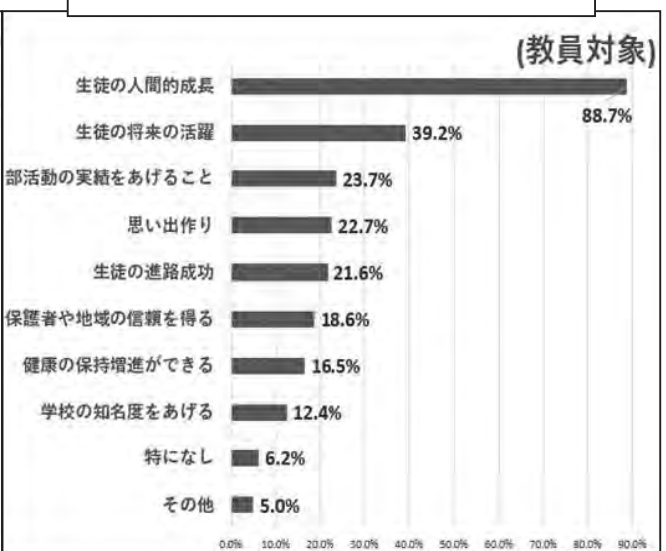


図15 教員の部活動におけるやりがいは？



エ 部活動におけるストレスについて

部活動へストレスを感じている内容については、休日の活動、気候や練習場所など環境的要因、お金や自分の所持品など自己負担があることなどが割合として高くなっている（図16）。

活動方法については、昨今休日の取り方や練習時間などについて新しいガイドラインが示されており、限られた練習時間でいかに目的意識を持たせ、人間的成長に繋がる密度の濃い時間にするかが重要であるように感じる。

教員にとって部活動がストレスではなく、保護者も望む子供の人間的成長に繋がる活動として、生きがいとなるよう学校の組織的取り組みや地域人材との連携などの仕組み作りが必要なのかかもしれない。

図16 部活動のストレスは？



4. まとめ

本研究から、生徒や保護者の部活動における必要な情報や情報入手方法の理想と現実、教員における部活動情報の提供内容と提供方法の理想と現実のずれなども見えてきた。また、教員の部活動におけるストレス原因ややりがいについても実態が少し見えたように感じた。

コロナ禍において部活動の様子が見えにくくなってきている今だからこそ、ICTを利用して必要な情報をたくさん発信していくことで、生徒や保護者との信頼関係を築いていき、保護者も教員も部活動で望んでいる子供の人間的な成長が見られる活動としていきたい。そして、生徒、保護者、教員など部活動に関わる全ての人が笑顔になるようなそんな学校での部活動になっていくことを願ってやまない。

結びに、本研究を進めるに当たり、多くの生徒や保護者、教員のご協力を頂き、結果分析から考察に及ぶまで終えることができたことに感謝し、お礼を申し上げます。私自身さらなる課題を見つけ、本県運動部活動の競技力向上や活性化、生徒・保護者・教員の心の健康づくりに繋がるよう、充実した研究を継続的に進めていけるように取り組んでいきたい。

(参考資料)

効率的な情報発信についてのアンケート（調査項目）

高校生対象①

- 問1 学校の情報はどのように手に入れていますか？
- 問2 部活動の情報はどのように手に入れていますか？
- 問3 学校生活について担任からはどのような情報を手に入りたいですか？
- 問4 部活動について顧問からはどのような情報を手に入りたいですか？
- 問5 担任との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？
- 問6 顧問との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？

保護者対象②

- 問1 学校の情報はどのように手に入れていますか？
- 問2 部活動の情報はどのように手に入れていますか？
- 問3 学校生活について担任からはどのような情報を手に入りたいですか？
- 問4 部活動について顧問からはどのような情報を手に入りたいですか？
- 問5 担任との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？
- 問6 顧問との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？
- 問7 部活動にはどのようなことを期待されますか？

教員対象③

- 問1 あなた自身は学校の情報をどのように生徒や保護者に届けていますか？
- 問2 あなた自身は部活動の情報をどのように生徒や保護者に届けていますか？
- 問3 学校生活について教員（担任など）からはどのような情報を生徒や保護者に提供すべきと考えますか？
- 問4 部活動について顧問からはどのような情報を生徒や保護者に提供すべきと考えますか？
- 問5 担任と生徒・保護者との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？
- 問6 顧問と生徒・保護者との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？
- 問7 担任にとって生徒とコミュニケーションをとり、指導する上で、ストレスや不安になることは何がありますか？
- 問8 担任にとって保護者とコミュニケーションをとる上で、ストレスや不安になることは何がありますか？
- 問9 顧問にとって生徒とコミュニケーションをとり、指導する上で、ストレスや不安になることは何がありますか？
- 問10 顧問にとって保護者とコミュニケーションをとる上で、ストレスや不安になることは何がありますか？
- 問11 顧問にとって部活動におけるストレスになることは何ですか？

本校柔道部関係者対象④

- 問1 部活動の情報はどのように手に入れていますか？（入っていましたか？）
- 問2 部活動について顧問からはどのような情報を手に入りたいですか？（入りたいと思っていましたか？）
- 問3 顧問との連絡のやり取りはどのようにとることが望ましいと思いますか？
- 問4 部活動にはどのようなことを期待されますか？（期待されていましたか？）
- 問5 萩高校柔道部「至誠ブログ」は役に立っていますか？（役に立っていましたか？）
- 問6 至誠ブログで特に役立っている情報は何か？（何でしたか？）
- 問7 今後至誠ブログがさらに良くなるにはどのようなことをすれば良いと思いますか？

アンケート内容及び選択肢の詳細

※観るには google drive が必要



①



②



③



④